

令和6年度(2024年度)年間授業計画表									
学年	1	コース	全コース	選択形態	選択必修	科目	美術	単位	1
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。美術に限定した資質・能力にとどまらず、自己を表現する力を身につける。								
使用教科書	高校生の美術2	副教材	なし					予定時間数	35
単元と内容									
1学期	『絵画鑑賞』 全1～2回		美術作品を鑑賞することにより、美術作品への親しみや興味を持ち、自らの表現力へと関連づけられるよう感覚を養う。作品の細部まで見ようとする力・作品から感じたものを表現する力を身につける。						
	『鉛筆画』 全7～9回		図法の学習を通し、立体的な絵画表現を知る。 明暗の調子を理解する。						
2学期	『平面デザイン』 全10～13時間		色と絵具の基本を理解する。 身近な題材を扱うことで、身の回りにある美術を愛好する心情を育てる。						
3学期	『立体デザイン』 全8～10時間		名作椅子と呼ばれるものを鑑賞し、椅子デザインを行う。 実際に自分の生活に根付いた椅子のデザインを行い、人に伝えるとは何か、というデザインの基本概念を考える。						
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	1.造形の奥深さと基本的な造形物の作り方を理解している。 2.色と形のもたらす効果を理解している。 3.道具の使い方を理解している。 4.道具の特性を生かして制作に活用できる。				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	1.自ら考え工夫して制作している。 2.考えたことを人にわかりやすく発表できる。 3.素材の特性を理解し、用途に応じて使い分けを判断できる。				○	○	○	

③	主体的に学びに向かう 態度	1.自ら意欲的に学習に取り組むことができる。 2.課題を理解し、準備等を積極的に行い、独自の表現を追求していくことができる。3.教員の話 を集中して聞くことができる。4.意見交換の場 では積極的に発言している。	○	○	○
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力		③ 主体的に学びに向かう態度
	課題 60%		課題 50%		課題 60%
	ワークシート 40%		ワークシート 50%		ワークシート 40%

令和 6 年度(2024年度) 年間授業計画表

学年	1	コース	全コース	選択形態	選択必修	科目	音楽 I	単位	1
学習目標	さまざまな音楽活動をする上で必要な基礎的な音楽能力を高め、活動を通して感性を豊かに育み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽について考える力を身につけることを目標とします。								
使用教科書	MOUSA I (教芸/音 I 703)	副教材	ワークシート、プリント	予定時間数	35	実施時間数			
単元と内容									
1学期	歌唱 (校歌)								
	1	発音、音程	基本的な歌唱方法を身につける						
	2	校歌の意味	校歌の意味について理解する						
	3	楽譜の見方、適切な表現	楽譜 (記号の意味) を理解し、適切な表現を考え、表現する。						
	器楽 (ボディーパーカッション)								
	1	リズムを理解する	拍の取り方やリズムパターンを正確に理解する。						
2学期	音楽って何だろう?								
	1	身の回りの音を聞き考える、評価する	さまざまな音を聴いて、自分の考える音のイメージに当てはまるかどうか評価する						
	2	音楽の目的や「音楽とは何か」を考える	作品を聴き、「音楽とは何か」について考える						
	創作								
	1	イメージを持って旋律を変奏する	持っているイメージからふさわしいリズムや調などを考え変奏する						
	2	音色などを工夫し、表現する	楽器の音を変えたり、組み合わせたりして表現する						
3学期	器楽 (ギター)								
	1	基本的な奏法	姿勢や楽器の持ち方、演奏方法を理解する。						
	2	正しいリズム・音程で演奏する	楽譜に書いてあるリズムや音を正しく演奏する						
	3	曲想を感じ取り、適切な表現をする	曲想を理解し曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。						
評価									
評価の観点			評価の趣旨			評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能		・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。			○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力		音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを受容しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞いたりしている。			○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度		音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている			○	○	○	
評価方法例	①		②			③			
	各種発表 80%		ワークシート 80%			レポート 80%			
	相互評価 20%		各種発表 20%			各種提出 20%			